



令和7年年頭のご挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。市民皆様におか
れましては令和7年の新春を
お健やかに迎えのことと心
よりお慶び申し上げます。

新年1月号の広報ださいふ
では、11月太宰府市に來訪さ
れた大河ドラマ光る君へ出演
の吉高由里子さん童星涼さん
の記事を特集しています。

本市総合体育館で開催した
トークショーは、先方都合か
ら残念ながら参加者は千人余
りに絞らざるを得ず、NHK
放映もありませんでした。

このため、ドラマ最終盤の
重要な舞台となりました大宰
府政庁跡をはじめ本市の誇り
うる名所旧跡を私自身が責任
を持ってご案内しました。

こうした視察を経て、市役所
での対談では参加叶わなかつ
た市民皆様や子どもたちに
向けてメッセージを受け取り
ました。ぜひご覧下さい。

やはり本市が大河ドラマの
舞台になることはこれまでも
ないことであり、令和に続き
その価値を確実に高めること
につながったと考えます。

今後もこうした歴史的文化的
レガシーを基盤に、最新の
住み良さ施策なども組み合わせ
ながら「ださいふ」をさら
に羽ばたかせて参ります。

さて改めまして本市での令
和6年を振り返りますと、本
紙12月号の10大ニュースでも
取り上げましたようにさまざ
まな出来事がありました。

パリパラリンピック女子マ
ラソンT12クラスでは、本市
在住で令和の都ださいふ応援
大使の道下美里選手が見事に
銅メダルを獲得しました。

最後まで諦めずに前を向い
て走り続けたことが奇跡の繰
り上げでのメダル獲得につな
がり、多くの市民特に子ども
たちの模範となりました。

子どもたちの中でも100

mハードル中学全国制覇やス
ケート日本記録樹立など世
界に羽ばたく人材が育ってき
ており今後が楽しみです。

夏には猛暑日連続4日通算
62日といずれも国内の歴代最
多記録を大幅に更新しまし
た。今後は更なる環境対策や
町おこしにもつながります。

また、当初予算が初めて3
00億円の大台を超えまし
た。私の市長就任当初は23
0億円台でしたので約1.3
倍と大きく増加しました。

更に、決算は市税収入が約
3%大幅増の88億円超、ふる
さと納税受入額が約1.5倍
の飛躍的増となる18億円超等
過去最高を記録しました。

これらを併せると100億
円を大きく超えるまでとなり
ました。こちらも就任当初は
82億円余でしたので約25億円
増加したことになります。

こうした飛躍的な歳入増に
伴う予算規模の大幅増加によ
り、従来要望がありながら実
施できなかった施策が着実に
前に進み始めております。

1月には待望の中学校完全
給食を開始しました。本市内に

民間の新調理場を誘致し、昨
年度は全額本年度は3割の給
食費を助成しています。

5月には老朽化に加え周辺
の住宅開発が進み全国的に珍
しく児童数が増加傾向であつ
た水城小学校の新校舎を落成
することが出来ました。

令和7年度には「日本一の猛
暑のまち」となった本市として
先進的な暑さ対策を行うため
に、市内小中学校の体育館
の空調設備を整えます。

こうした取組もあり4月自
立持続可能性自治体に選ば
れました。全国1729自治体
のうち、自立持続可能性自治
体は65自治体のみです。

その中でも本市は22位に位置
付けましたが、その証拠に全
国的に人口が減少するなか本
市では令和5年人口の自然増
社会増を達成しました。

具体的には、全国的に出生
率が下がるなか出生数が増加
に転じ、転入者が200人以
上増加する一方転出者は10
0人以上減少しました。

こうした成果は主な全国自
治体ランキングにも表れまし
た。魅力度では過去最高の37

位、ブランド力では48位とい
ずれも上位を占めました。

こうした好循環をさらに確
かなものとし着実に未来へ引
き継ぐために、今後も子ども
まんなか施策や全世代居場所
と出番づくりが必要です。

まずは令和7年度当初予算
において令和6年度の大台3
00億円を更に上回る規模を
確保し必要な歳出を市民に還
元しなければなりません。

加えて、従来の4つの構想
と戦略に加え施政方針の5つ
の重点項目を組み合わせた第
3期総合戦略を策定し、更な
る飛躍に繋げて参ります。

その中の一つの重要な連携
先である九州国立博物館が開
館20周年の節目を迎えます。
本市小中学生の特別展招待な
ど更なる連携を図ります。

そして令和7年は、私ごと
ですが50歳の節目を迎え、私
に与えられた市長任期の最後
の年となります。本年もよろ
しくお願い申し上げます。

太宰府市長

楠田 大蔵